

2016年度 第3回 理事会議事録

日 時：2017年2月14日（火）10:30～17:00
場 所：東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田 2号館 401

I. 開会 司会進行：大代専務

- II. 会長挨拶：今年のキーワードとして「尊重」。その背景には「結」自分が誰と繋がるか。誰と誰を繋ぐか、非常に大切な年と考えている。延期となっているが、塩崎厚生労働大臣と対談が実現した折には、供養経験の多少が地域福祉を担う優しさに繋がっていくことを申し上げると共に、技能者の常駐を石工事において義務づける方向性の話をしたいと思う。そして本日の報告にもあるが、神戸のハーバーランドモザイクのイベントコンチェルトの幽霊船のイベントを行ったジャパンエンターテイメントが、去年亡くなったラグビーの平尾誠二氏の半生を描いた映画の製作がある。その映画の中でターニングポイントの場面にてお墓参りをするシーンを盛り込んで頂けるよう働きかけをしてきたいと思う。皆さんも地元の有力者と石産協を繋いで頂ければと思う。

III. 議事

1. 議長選出：長江副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗
2. 定足数の確認：理事出席 56名（79名中）委任状66名 監事出席3名（3名中）顧問0名 オブザーバー2名 事務局3名 合計：64名
3. 議事録署名人の指名：正副会長より白木氏及び監事より伯井氏を指名
4. 資料及び議題の確認・新議題の採択 議題は次第のとおり、新議題なし。
前回議事録の確認（メール配信済み）第2回理事会 第2回常任理事会 第6回正副会長会議
5. <会議の進め方：竹ノ内関連部会長より>
一日の理事会が実りあるものになるように。テーブル単位で役割分担する。

【審議事項】

(1) 入退会について 入会 3名 退会 11名 大代専務 資料P1

前迫：入会の駿台予備校の推薦される理由と石産協の関係を教えてください。

森田：お墓ディレクター試験の関係。葬祭の専門学校がお墓ディレクターの試験を受けたいとの要望があり、駿台の授業を引き受ける。そのような関係から入会となった。

入会について：賛成 反対：0 白票0 全会一致にて承認

退会について：11社 承認

(2) 【総会】定時総会 2017 事業計画案 谷合 資料P8

谷合：コンパクトな総会とする。次年度以降は地方での総会を考えている。具体的には理事会の拡大版（テーブル討議）のような総会を考えている。

柴田：その討論会で石産協として方針、疑問、提案があった場合どのように対応するのか？形式としてはテーマ、ストーリーは作ってあると考えてよいのか？

谷合：討論会での回答は担当副会長が答弁する。

佐野：2時間半の討論会。どんな形か教えてほしい。会場のキャパは？

谷合：総会資料に基づいて、総会を進め、ディスカッションする。若干の人数調整はできると思う。260名までは対応できる。

賛成 反対0 白票0 全会一致にて承認

【協議事項】

(1) 2017年度会長所信及び副会長の計画 射場会長 資料P17

射場：会長所信に関しては前回常任にて説明しているので割愛いたします。まだ提出していない副会長は早急に提出していただきたい。

白木：公正競争規約について説明。

2016年度 第3回 理事会議事録

金子：中国・四国・九州沖縄地区について説明。

森田：お墓ディレクター・次世代共育・顧客満足推進委員会について説明。

長江：北関東・信越・南関東について説明。

(2) 2017年度 組織図 (案)

射場会長

資料 P19

射場：変更点としては予算編成委員会の設置。ストーンショー運営委員会設置の2点

(3) 支部補助金活用

大代専務

資料 P20

大代：支部補助金の活用についてだが、補助金が活用されていないのではないか？支部総会が開催され、支部補助金の使用状況が把握されるのだが、提出されていない現状がある。使用していないのであるのならば、極論かもしれないが、翌年度の補助金を拠出しない。

～テーブル協議～

西山①：支部補助金の用途は、支部にて予算組しているところは活用していると思う。補助金の有効活用できる要素として石産協発行の小冊子等の存在を知らない人が多いのではないか？注文用紙を毎回石産協通信に入れてはどうか？会員への周知が必要。

能島④：支部総会資料が提出されていないのは問題がある。近畿地区はS Aに支部合同で参加したが、支部活動の一つとして理解頂きたい。《次期繰越》ばかりはどうか？どこかで線引きをするほうが良い。支部会費を徴収しているところ、いないところがあるかと思うが、石産協の会員として支部活動に参加するためにはある程度の支部会費又は参加費を集めた方が良いのではないか。

大代：合同会議等を行った場合、報告書を提出してほしい。

川本⑩：支部補助金の使い道の認識がなかった。マイナス思考はしたくない。支部で何をしたらよいか分からないのではないか？相談室等の開催など話し、有効に使うように内部喚起が先ではないか。

北原⑥：本部へ資料を提出しなければならないことが周知されていないのではないか。前任から引き継ぎがない。

岡谷②：支部によって支部会費を取ってる取っていないがあると思うが、講演会等行った時にお金が足りなくなってしまうところもある。県が広いと集まりもなかなかできないところでは会費が余ると思う。香川県支部ではテッシュを作成し、お墓参りキャンペーンを行っている。

柴田①：支部会費のことでトラブルもあった。活動費は必要。もう少し補助がほしいという意見もある。きちんと活動を行う支部に比重をおいてはどうか？補助金の枠は維持してほしい。

藤井⑤：購入に充ててよいという解釈でよいのか？報告書のひな形がほしい。

大代：支部事業費が足りないとのことだが、支部補助費の他に支部助成金がある。役員メールにてひな形等を配信する。

(4) 災害時に於ける支部対応についての事業計画書

大代専務

資料 P22

大代：現在は茨木市のみ。協定を各支部進めていただきたい。鳥取県支部が、先般の地震での石造物の修復の依頼を受けたようだが、この協定が応用できるのではないか？災害時には墓地は個人のものであり、勝手に動かすことはできないという前提はあるが、自治体との協力により、スムーズになるかと思う。

～テーブル協議～

金子③：地方によってだが、行政が管理している墓地自体が少ない場所がある。境内墓地であればお寺が一括で出来ると思う。市単位でないとできないのではないか？県単位は難しいかと思う。石造物は県とコンタクトがあればよいが、無いところは県とコンタクトを取るところからすすめていかなければならなく、いきなりは難しい。

望月秀⑦：災害時の窓口をどこにするか。災害時は支部会員も被災者なので、連絡を受けるのは本部が窓口になると良いと思う。霊園等の規約の改正をした方がよい。

堀⑧：作業については有料にするべき。ボランティアでは限界があり、地元とのトラブルの基となる。協定を行政に丁寧に説明しながら進めて行くべき。

柴田①：被災地との連携を本部がとってほしい。寺の文化財に限っては堂々と入れるので、こういった結びつきは大切。

瀬川⑩：パイプがない支部が多いのではないか。支部と県と両方協定を結んだ方が広がりがある。支部で行いマスコミにリリースして、事業として拡げて行く。

大代：行政とまず話し合いの機会をもってもらいたい。一歩踏み出さないと先に進まないのではないか？前向きに検討していただきたい。

大代：収支予算 1/24 時点で上がってきた予算単年度は 1500 万の赤字だったが、1000 万抑えるように予算変成委員会より意見があり、修正を行った。

▶地区（地区長からの説明 2 分以内⇒各テーブルで協議

各地区長より事業計画資料説明

水野：和歌山県支部の立上げがあるが、大阪府支部に属すると決まったが、アクションをおこしていきたい。

金子③：各地区地域性を持ちながら事業を行っていくのは良いと思う。

柴田①：各地区での活動を支えていかなければならない。

大代：是非、地区支部会議にて災害時応援協定を議題に載せてほしい。

▶部会（部会長からの説明 2 分以内⇒各テーブルで協議

各部会長より事業計画資料説明

望月⑦：部会に参加している人は内容が解るが、部会に参加していない人に内容が分かるように話し合った方が良い。

上野⑩：消費者について議論するところがない。消費者→墓石部会→加工部会→採石部会に伝える。流れが必要。

山口②：国産銘跡アドバイザーについて詳しく伺いたい。

三野：資料 P4 賛同した会社に参加してもらおう。研修マニュアルを作成し、各事業所にきて丁場見学、体験もらった人に丁場ごとの修了証(カード)を発行。

斉藤（新潟）②：全国組織の中に部会があるのに、合同部会がないのか？

大川：採石、加工、輸入卸、建築、関連、徐々に幅を広げていきたい。力を合わせて取り組んでいきたい。

堀⑧：シナリオプランニングの 10 年後の話は興味深い話で、10 年前から比べると現在は石を使う量が大変減っている。次年度に出るシナリオプランニングの結果を楽しみにしている。

井口直前⑥：加工部会へのお願い。現在 2 世の人たちが研磨して製品を作っているが、父から教わったことが本当に正しいのか不安に思っている。現地（地方）へ行って教えてあげてほしい。自信ができるとおもう。地区、支部の活性化にも繋がると思う。

大川：要望があるのならば、行きたいと思う。会員の皆さまに役に立ちたいと思う。

友常：要望に応えたいが、スタッフが非常に少ない。是非スタッフの一員として参加をお願いしたい。

◆【墓石部会／補足】墓じまいネットワーク事業計画書について 《資料 P41》

二上：埼玉県の相談室にて墓じまいの相談が多数あった。墓じまいは遠隔地の墓地で行われている。消費者墓地が遠隔地にある為、現地の石材店がわからないという声がとても多い。遠いところのお墓を撤去して近くに持ってきたという要望に現地の石材店を紹介することができない。墓じまいの現状を変えることはできない。避けて通ることはできないと思う。全国組織である石産協のネットワークを利用。墓じまいは地元の石材店にて！ネットワークの構築をし、対応できる石材店をリスト化。墓じまいに関しては抵抗感があると思うが今、この時点で前向きに取り組むべきだと思う。

佐野：金額の目安、ある程度の基準が必要ではないかと思う。皆様の意見を伺いたい。

～テーブル協議～

西山⑩：協会 HP を応用（加盟店検索）できるのでは？工事の基準、施工の範囲(テリトリー)リストづくりから始め、部会だけではなく、支部単位で周知し、協力者を増やせばより良いものとなると思う。

三上⑥：ネーミングが良くない。リストの件だが、会員の顔が見える方法を構築できないか？

柴田①：一般の会員が直接連絡をとるのは難しいのではないかと。リストが必要であり、リストに書くことにより、その一角にいる自覚ができる。現場に部隊を持たない石材店があり、そこから外注に出すところもあることから、高い金額になる可能性、繁忙期は対応できない可能性。受けられる・受けられないというリストを作らなくてはならない。Web の話だが、お墓の窓口が使えるのではないかと。

上野⑩：賛成だが、コンプライアンスの問題がある。消費者に広告しなければならない。産廃の問題、コンプライ

アンスの問題をきちんとしないと広告しづらい。

岡谷②：協会での事業ならば10パーセントマージンをという意見があった。

井口直前⑥：産廃扱いではないというスタンスで行いたい。地方によっては、産廃扱いと産廃ではないとあると思うが、産廃ではないという行政を拡げていきたい。

二上：不正な処理方法が無いように何らかの縛りを設け、戸部先生にも相談したいと思う。

▶委員会（委員長からの説明2分以内⇒各テーブルで協議

各委員長より事業計画資料説明

【CS委員会／補足】石材店向け終活セミナーキット発売について

能島：委員会にて、終活セミナーキットの上程は取り下げることに至った。

能島：カタログについては消費者がわかりやすいカタログの作成。採石部会と相談をさせてもらう。

委員会担当副会長より～

森田：駿台トハルの事業の件については皆さまの意見をいただきたい。受検者数の減少の問題があり、皆さまの協力をお願いしたい。

顧客満足推進委員会の件だが、セミナーキットの必要性が伝わらない。肯定的な意見があれば再度構築。

～テーブル協議～

吉田⑧：委員メンバーを増やす為には、会員1200名いるのにも関わらず、殆どのひとが携わったことがない。そのような人たちをどのように巻き込んでいくか課題である。

戸高⑥：委員会活動には敬意を表する。顧客満足のカタログの議案は性格が違う委員会が作成すれば全く違うものが出来るのではないかと思う。再度検討するのはどうか

小松⑨：広報、啓発、各委員会の意見交換が必要なのではないか。

小田⑩：予算は予算内で。1社ではできないことを！団体としてではできないことを行っていくべきではないか？伝えていく為に、支部でのプレスリリースが必要だと思う

会長：終活セミナーキットの件では再度検討してもらいたいと思う。カタログの件は採石部会と共に作り上げることが大前提だと思うが、現在のカタログは採石部会から小売店向けへのカタログだと思う。小売店の視点で消費者への魅力を伝えるか！そのような観点からカタログを作っていただければと思う。

能島：委員会メンバーに伝えたいと思う。又報告したいと思う。

寺田⑤：各委員会が多く事業計画があり、キャパオーバーしているのではないかという意見がテーブル内にてあった。

望月幹事：予算編成会議を行い、難しい問題がある。いくらでもお金があるわけではない。会費の年間4000万円の使い道・・・セミナーキットは本部予算を使わなくてもできるのではないか？『ソナエ』もまだ読んだことのない支部の方々がいるのではないか？支部補助費を活用してはどうか？宣伝広告費をかけることはキリがないので、編成をお願いした。皆さまが頑張っているのは理解している。しかし、全体のことを考え、それぞれ配分しながら、検討した。予算を減らすのは難しい問題だが、会費を増やすわけにはいかないので行わなければならない。皆さままで検討し、予算編成委員会でも勉強していきたいと思う。

【報告・討議・依頼事項】

(1) 【支部助成金】北海道支部幸フクロウ運動 (PP 投影あり) 三上支部長 資料 P46

三上：現在幸フクロウの周知ができ、児童福祉施設の方から次年度の場所にここはどうか？と提案があるようになった。ソナエにも掲載していただいた。今年度企画活力推進チームを立ち上げ、行政のイベントに参加できる雪まつりにエントリーした。10倍の倍率の中当選することができ、雪で幸フクロウを作成。《日本石材産業協会 有志の会》として参加することができた。来年も参加したいと思う。

(2) 【近畿地区】地区全体会議事業報告・決算 2016. 11. 23-24 水野地区長 資料 P49

水野：ストーンアシストと協賛。

会長：非会員の参加があったと思うが、参加フォローは行っているのか？

2016年度 第3回 理事会議事録

- (3) 【中四国地区】中国四国地区全体会議事業・決算報告 寺尾地区長 資料 P51
寺尾：10月に行った。次回は鳥取 更に翌年は徳島にて行う予定。
- (4) 【輸入卸商部会】2016年度日中墓石交流会 報告・決算 望月部会長 資料 P53
望月：日中にて日本の現状を話し、石産協で行っている事業について報告した。中国で粉塵等の問題で賠償となっているケースがあるとのことだった。3月の厦門の展示会でまた話を聞き、報告したいと思う。
- (5) 【関連部会】ストーンアシスト in 東京 開催について 2017.6.23 竹ノ内部会長 当日資料
竹ノ内：総会の翌日に行く。過去2回よりは小規模であるが、セミナー中心のストーンアシストである。
- (6) 【啓発事業企画調整委員会】ノウハウのブラッシュアップ（「CONCERTOの幽霊船」改） 福川副会長 資料 P63
福川：兵庫県支部、射場石利石材に協力いただき行った。目に見える効果は難しいが石に触れる機会ができた。
射場：この協力会社 ジャパンエンターテイメントの製作する平井氏の映画を出来る限り協力をしたいと思う。
- (7) 【お墓D委員会】第13回検定試験詳細 湯浅委員長 資料 P65
湯浅：受検者数の減少が今後の課題。合格発表は3月初めを予定している。
- (8) 【お墓D委員会】第9回更新について（認定番号06-、11-で始まる方対象） 湯浅委員長 資料 P67
湯浅：更新期日内に手続きができるよう周知の協力をお願いしたい。
- (9) 【CS委員会】いしげえ現状報告 能島委員長 別紙
能島：ニューズレター申込み数現状2社。見積りに添えるなどの活用の仕方がある。石材店の名前ではなく出入りのお寺の名前で作成することができる。支部予算のなかで使用してはいかがか。支部の加盟店を裏面に入れる使い方もある。
- (10) 【公正競争規約検討特別委員会】委員会から現状の報告 白木副会長 PP 投影
白木：パワーポイントによる説明
- (11) お墓100年プロジェクト フォトコン協賛2017 大代専務 資料 P69
大代：庵治SFにて行われるフォトコンへの協賛する。
- (12) チャイルドライン支援センターへの寄付金事業計画書 川本理事 資料 P71
川本：《いのちの電話》の子ども版。5万円の寄付を行った。今後はチャイルドラインのカードを配る活動にも協力したいと思う。
- (13) 議案上程マニュアル 射場会長 資料 P77
射場：議案上程マニュアルを熟読いただきたい。
- (14) 慶弔の連絡について 射場会長 資料 P81
射場：慶弔の連絡があった際は、支部長から支部員へ連絡をお願いしたい。
- (15) 年会費未納者 大代専務 資料 P82
大代：知っている方が未納にいたら、年会費納入の協力をお願いしたい。
- (16) 2016年度末決算及び2017年度計画について、支部総会開催依頼 大代専務 資料なし
- (17) 理事交通費申請書 提出のお願い 大代専務 別紙
大代：期日厳守でお願いします。

～沖縄の戦没者慰霊碑の補修・洗浄支部補助金事業口頭にて報告～

上田：鳥取県支部にて2/2・3に沖縄の戦没者慰霊碑の補修・洗浄を行った。沖縄県支部にも協力を頂いた。参加者からも社会貢献ができよかったとの感想があった。沖縄県支部長より今後、こういった事業があれば協力するとの話があった。

チェックアウト（グループ内にて感想発表）

監事講評

斎藤：望月監事からも話があったが、予算内でお願いしたい。入会者より退会者が多い気になる点である。理事会のすばらしい雰囲気が会員に伝わればと思う。

2016年度 第3回 理事会議事録

伯井：今日の理事会は活性化して素晴らしい。予算の件だが、積極的に事業行えば予算もどんどん膨らむ。委員会に検証が必要であると思う。カタログ製作の件だが、消費者、生産者向けのカタログとでは意味が違ってくる。

優先順位をつくり、予算のバランスをよくしないといけない。縮小するというのではなく、質のレベルを上げるという方向で検討してほしいと思う。

閉会

2017年2月14日

議事録署名人： 白木秀典 ㊞

議事録署名人： 伯井 守 ㊞

議 長： 長江曜子

議事録作成人： 事務局 中村早苗